



新しい年  
新しい出会い

特集1

## いいたて新春のつどい

特集2

### 平成30年村の10大ニュース

特集3

### 平成31年飯舘村成人式



今月の特集

飯舘中学校体育館を会場に開かれた「いいたて新春のつどい」を、紙上で再びお楽しみください。



大いなる田舎  
までいライフ  
いいたて



書家・陽華さんによる  
書道パフォーマンス

子ども達のステージにエネルギーを感じた陽華さん。その輝きを星に見立ててこの言葉が生まれたそうです。

い い つ つ も  
い い つ つ よ に  
た の し く  
て 手 を と り  
い の 祈 り を 込 め て  
し し 進 歩 す る 僕 ら と  
し 親 愛 な る こ の 星 に

笑顔で  
つながれ  
新たな  
元年へ

平成31年1月20日 飯館中学校体育館

# いいいたて新春のつどい

会場の体育館に約600人が集いました

皆さんの投票で決定する10大ニュースの発表や、小学生のステージ、ラオスの伝統舞踊、さらにはさだまさしさんのコンサートなど、盛りだくさんの1日でした!

健康福祉課  
健康係  
國分志保理

復興対策課  
商工労政係  
万福大輔

司会の2人を応援する  
村公式キャラクターの  
イタネちゃん

平成30年村の10大ニュースを  
発表しました(詳細はP6で!)



1月26日、一晩で雪景色となった村民の森あいの沢で。民家園にも真綿のような新雪がふんわりと。



## CONTENTS 目次

- 3 特集1 いいいたて新春のつどい
- 6 特集2 平成30年村の10大ニュース
- 8 復興を歩む 帰還者のつどい
- 10 ほけんとふくし 百歳賀寿/健康カード ほか
- 11 教育のページ 読書メッセージコンテスト ほか
- 12 特集3 平成31年飯館村成人式
- 16 いいいたて便り
- 18 つながるアルバム
- 19 ちょっと昔のいいいたてライフ ほか
- 20 お知らせ
- 21 入札結果 ほか
- 22 ひとかたるものがたり / 堀先生相談室
- 23 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 24 ホープス / 編集後記

「いいいたて新春のつどい」でラオスの伝統舞踊を披露した「ラオス留学生協会」の皆さん。東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンプロジェクトに取り組む飯館中学校の代表生徒と交流した他、小学生との交流では「こんにちは」「ありがとう」などの言葉を教えてくれました。



●表紙のおはなし●



さだまさしさん  
コンサート  
いいいて新春のつどい

さださんは、大ヒット曲「関白宣言」に続けて、現代風に作り直した「関白失脚」も歌って、聴衆を大笑いさせました。他にも、ドラマ「北の国から」のテーマ曲、名曲「雨やどり」など、代表曲の数々を歌い、会場を感動いっぱいしてくれました。

ジャケットの下には村商工会青年部が用意したロゴ入りのTシャツ。さださん、ありがとうございます！

「音楽は無力ではない」と、被災地の皆さんと出会って知りました。歌には心を動かす力があると思って歌っています。



コンサートの会場も飯館中学校体育館。さださんの素晴らしい歌声に聞き入る皆さんです。一方、心揺さぶるお話には涙を誘われ、ユーモアたっぷりのおしゃべりには大爆笑。心の底からあたたまるひとときをいただきました。飯館村でのコンサートを快諾くださったさださんと関係者の皆様、本当にありがとうございました。



草野・飯桶・白石小学校の児童が、この日のために練習を重ねた群読と合唱を披露しました。また、6年生はプログラミング授業で学んでいるドローンの操作を実演。堂々と発表を行う子ども達の姿に、会場中が胸を熱くし、大きな拍手を送りました。



「復興ありがとうホストタウン」などで村との交流が続く東南アジアの国・ラオス。「ラオス留学生協会」の皆さんが来場し、ラオスの舞踊を披露して、会場を盛り上げてくれました。参加者も踊りに加わって、みんなの笑顔がはじけました。



おめでとうございます!  
中島友子さん(比叢)が金賞を獲得しました

平成30年の10大ニュースの投票は、昨年12月から約1か月間行われました。窓口を設置された投票箱での受け付けや、郵送で寄せられた612件の投票を元に10大ニュースを決定! 最も正解率が高かった方1人に金賞(道の駅商品券5万円分)を、次に高かった方から3人に銀賞(高知県馬路村産ゆずドリンクセット)を、応募者全員の中から抽選で30人に銅賞(村産米「里山のつぶ」2kg)をプレゼントしました。

# 飯舘村 10大ニュース

平成30年

4月1日

## 第1位

こども園、小学校、中学校が村内で開園・開校! 104人の子ども達が、新しい学校生活をスタート!



帰還困難区域を除く避難指示解除から2年目となった平成30年。前進する村の様子が10大ニュースにも表れていますね。今年は元号も変わる節目の年。来年発表される10大ニュースは、さてさてどんな顔ぶれになるのでしょうか。皆様一人ひとりにも、よりよい1年となりますよう。また来年の「新春のつどい」でお会いしましょう。

### 第10位

1月12日

「新春村民のつどい」を村内で復活開催! さとう宗幸さんのスペシャルコンサートも開かれました。



### 第9位

5月19日

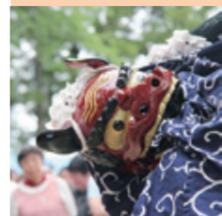
こども園、小学校、中学校が力を合わせて、初めての合同運動会「いいたてっ子運動会」を開催しました。



### 第8位

5月3日・4日

10年ぶりに大雷神社の遷宮大祭が行われました。合わせて飯樋四区復興祭も開かれ、多くの人が訪れました。



### 第6位

8月11日

道の駅が1周年を迎え「にぎわい夏祭り」を開催。村産イチゴを使ったかき氷の早食い大会などを来場者が楽しみました。



同票6位!

### 第6位

3月10日

相馬市と福島市を結ぶ「相馬福島道路」の「霊仙飯舘IC」が完成しました!



### 第5位

7月24日

2020年東京オリンピック・パラリンピックでの採用を目指す花「いいたてオリンピック」を道の駅で初お披露目。



### 第4位

9月9日

村内で開催された敬老会。歌手の千昌夫さんによるお祝いのステージを、約350人の出席者が楽しみました。



### 第3位

8月12日

いいたてスポーツ公園のグラウンドオープン。までい大使の増田明美さんが「オープンングラン!」でテープカット!



### 第2位

3月18日

「八木沢トンネル」が開通! 中学生が揮毫した銘板も取り付けられました。



平成29年3月31日に、長泥地区を除く村内の避難指示が解除されてから、間もなく丸2年が経過しようとしています。村内の居住者は、現在約1000人。村に戻る人の帰還は、今もゆるやかに続いています。

1月26日には、交流センター「ふれ愛館」で、「帰還者のつどい（帰還村民との懇談会）」が開かれました。帰村していない人も参加することができる懇談会として、お知らせ版などを通して、参加を呼びかけていたものです。

当日はあいにくの大雪で、参加した村民は十数名に留まりましたが、内容的には大変充実した懇談となりました。各課からの報告や具体的な質疑で情報の共有が図られた他、今後の村づくりへの意欲的な意見、課題に対する前向きな提案が相次ぎました。

例えば、「高齢者がいきいきと輝くような施策を。少子高齢化社会

のさきがけに」という建設的な意見。他の方からも健康事業やサロン開設などの提案がありました。また、「開拓者であった先祖の精神を失いたくない」「景観が失われつつあったとしても、人の心の美しさがある。『美しい村』であることに変わりはない」といった意見や、復興を何としても成し遂げたい、協働しようという呼びかけもありました。さらには防災計画や通信事業に関する確認、交通機関や商業施設への要望、移住者・転入者の現状や農地保全に関する質問もあり、課題の共通理解が図られました。

村内の生活環境を高めていくためには、今回のような対話が大変重要です。今何が必要なのか、どんな情報が不足しているのか、さまざまな気づきのある懇談となりました。会の終わりには、菅野村長が、「ご意見を踏まえてしっかりとやっていきます。そう遠くない時期にまた懇談会を開きたい」と語り、参加者に感謝を述べました。

「広報いいたて」も、懇談会でいただいたご意見を紙面に生かし、情報発信を強化してまいります。復興のその先へ。新しい村づくりに、引き続きのご協力をお願いいたします。

交流センター「ふれ愛館」のホールで行われた懇談会には、村の幹部や各課長も出席。事業の報告を行い、質問や提案にも答えました。意見交換では、何人もの参加者が、故郷への思いや再興への決意を語り、職員を逆に勇気づけ鼓舞する場面が幾度となくありました。





### わたしのおすすめ読んでみて！ 読書メッセージコンテスト

村では、自分のおすすめの本を紹介する読書メッセージのコンテストを行いました。多くの応募作品の中から最優秀賞などが決定しましたのでお知らせします。

賞に選ばれた本は、移動図書館こあら号で貸し出していますので、ぜひご利用ください。

#### 第19回読書メッセージコンテスト 入賞結果

- 最優秀賞 … 遠藤善行さん(一般) 「メジャーセカンド 満田拓也 著」
- 優秀賞 … 井上朱音さん(飯館中3年) 「最後の医者は桜を見上げて君を思う 二宮敦人 著」  
末永若葉さん(飯館校3年) 「このあとどうしちやお ヨシタケシンスケ 著」  
末永紗稀さん(小学4年) 「もりのせんたくやさん 矢部美智子 著」
- JPIC賞 … 川井萌映さん(飯館中3年)、齋藤春香さん(飯館中1年)、菅野和奈さん(飯館校3年)、大河内尚貴さん(高校3年)、末永柁稀さん(小学2年)



### いい年になりますように 願いを込めて団子さし

1月15日、までのりの里のこども園で小正月の行事・団子さしがあり、園児が豊作などをお願いしました。

この日は、村文化財愛好会と村民の有志の方が準備を手伝い、園児が団子を丸めてミズの木に飾りました。年長児は、「野菜がたくさんできますように」「魚がたくさん捕れますように」など、自分の願いをこめて手作りの飾りを作りました。

### 小泉チヨさん 百歳の祝い

1月4日、いたてホームで小泉チヨさん(伊丹沢)の百歳賀寿の祝いが行われました。県や村などから祝い品が贈られると、小泉さんが「ありがとうございます」とはっきりとした受け答えをする場面もあり、穏やかな雰囲気での祝いの時間が過ぎました。

小泉さんの長寿の秘訣は、「何でもよく食べること」。この日も、大好物のパンがのったホーム特製の手作りケーキが登場！小泉さんの笑顔が溢れました。



いつも一緒、ホーム職員が小泉さんを囲みました

### ふくしま健民カード 健康づくりはじめましょう♪

「ふくしま健民カード」は、県と県内市町村が連携して行う健康づくり事業です。飯館村でも、昨年9月から、「までいにコツコツ健康ポイント」事業としてスタートしました。対象は、18歳以上の方です。

- 期間…平成30年9月3日～平成31年3月1日 ※提出期限も同日
- 参加方法…①健康福祉課で配布している台紙に、自分が取り組む健康目標を立て、実施します。  
②合計が3,000ポイント以上になったら、達成した台紙を持ち、健康福祉課へ。

「ふくしま健民カード(ノーマル)」を受け取ります。カードを提示し、県内の協力店でお得な特典を受けましょう！ポイントを増やすと、カードがランクアップしていきます！  
ランクアップ毎に抽選で豪華賞品が当たる応募はがきもお渡しします！



笑いが絶えない健康運動塾。ぜひ、ご参加を！

### 私も参加しています！ 健康は体の貯金です 鈴木みつ子さん(深谷)

毎日コツコツ運動することで、身体が軽くなってきます！  
夫婦そろって運動教室にも参加しながら楽しんでいます

鈴木さんは、ランクアップして現在プラチナカード！→



スマートフォンアプリで  
ご参加いただくことも  
できます！

iPhone端末の場合



OSバージョン: iOS 8.1 以上  
機種: iPhone 5s 以降



Android端末の場合



OSバージョン: Android 4.4 以上  
機種: Android 4.4 以降を初期OSとしている機種

※©2018 Apple Inc. All rights reserved. Apple, Apple ロゴ, iPhone は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。※Android, Google Play, Google Play ロゴは, Google Inc. の商標です。



# 平成31年 飯舘村成人式



飯舘お母さんコーラスがお祝いの歌を届けました。  
成人式への出演は、今年で40回目となりました



新成人代表  
菅野 龍さん (佐須)

震災後に出会った中学校教員に憧れ、教員を目指して勉強中！  
「これまで多くの人に支えられてきました。これからは支える人になっていきたい」



ふるさとで迎えた成人式

1月13日、交流センター「ふれ愛館」で、平成31年飯舘村成人式が開催され、新成人が人生の門出を迎えました。式では、村関係者、保護者らが見守る中、村長が一人ひとりに成人証書を手渡しました。

今年の成人式の対象者は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた56人。ふるさと飯舘村で友人との久しぶりの再会を楽しみ、晴れの日を過ごしました。

希望を抱き 新しい門出



### 20歳の自分へ宛てた手紙

この日は、卒業式当時書いた「20歳の自分に宛てた手紙」が本人に手渡され、開封されました。

手紙には、震災当時の気持ちや将来への希望がつづられていました。

20歳の自分へ宛てた大切な手紙の一部をご紹介します。

「放射能が消えていたら、家と牧場をつくってほのぼのと暮らすんだぞ」

「がんばって、大丈夫だから絶対にあきらめないで。いくじなしにはならないで」



実行委員会の皆さん



学生時代の恩師も駆けつけました



俳優 伊勢谷 友介さん

「震災という大きな経験をした新成人の皆さんだからこそ、社会に出ても自信をもって成長し続けて欲しいと願っています」



出張Barも登場！

### 自分の世界を広げて「20歳の20冊」

村では、一般財団法人出版文化産業振興財団（JPIC）から読書環境に関する支援をいただいています。

その活動のひとつが「20歳の20冊」です。今年も著名人と教育長らが選んだ20冊から、新成人が好きな本を選び、プレゼントされました。

新成人より

「本を読むことで気になることや、問題を知ることによって踏み出す機会になりました。大切に読んでいきたいです」



教育長からひとり1冊、本が贈られました

震災時、小学6年生が20歳

## おおきな支援を力に、恩返しのできる大人になりたい

今年の新成人は、震災当時小学6年生。3月に予定されていた卒業式は、9か月後の12月25日に川俣町で開かれました。成人式には、卒業式の開催を支援した俳優の伊勢谷友介さんが参加。伊勢谷さんが代表を務めるリバーサイドプロジェクトが、クラウドファンディングで資金を集め、今回も式を盛り上げました。「自分たちが主役になって成人式を作りたい」と新成人も実行委員として参加。卒業式で受けた「支援」を力に、たくましく成長した若者の姿が見られました。



震災の年、9か月遅れで開かれた卒業式の様子



実行委員長・大河内渚さん(左)と伊勢谷さん



心に寄り添う歌を  
岡本真夜さん ライブ



卒業式で歌のプレゼントを届けてくれた歌手の岡本真夜さんが、サブライズゲストで登場。あの日と変わらない優しい歌声が会場と心を包み込みました。岡本さんは、卒業式当日のようすを振り返りながら全5曲を披露しました。卒業式でも歌われた代表曲「TOMORROW」では、会場がひとつになり大きな盛り上がりを見せました。岡本さんは「歌を通して、未来、夢に向かう途中のいろいろな想いに寄り添っていききたい」とエールを送りました。

## 飯舘村消防団 出初式 決意を新たに122人が集う



小雪が舞う中、交流センター駐車場で観閲を行いました。引き締まった表情で観閲を受ける団員達

1月6日、交流センター「ふれ愛館」で、飯舘村消防団の出初式が行われました。式には、消防団員・女性消防隊・役場消防隊、合わせて122人が参加。交流センター駐車場で観閲を行い、村内の安心・安全な暮らしを守るため、本年も引き続き消防活動に取り組んでいくことを確認しました。また、あいさつに立った関係各位は、団員らの貢献に感謝を述べて激励。優良消防団員の表彰と、永年勤続賞の授与は、交流センター内のホールに移動して行われました。

## 風とロックCARAVAN福島 交流センターで再び！



トークショーも同時開催。箭内さん(右から2人目)、菅野村長(左端)や村民が、村の魅力を語りました

1月19日、交流センター「ふれ愛館」で、県内59市町村をめぐる音楽ライブ「風とロックCARAVAN福島」が開かれました。ステージには、ロックバンド「音速ライン」やスネオヘアーさんをはじめ、県内ゆかりのアーティストが続々登場。それぞれのパフォーマンスで会場を盛り上げました。この催しは昨年1月にも同会場で開催されましたが、出演予定だったクリエイティブディレクターの箭内道彦さんが体調を崩して来場できなかったことから、特別に2回目が開催されました。

## 子どもと保護者の心をケア 出口小児科医がまでい大使に



菅野村長から委嘱状を受ける出口さん(左端)。同日コンサートを開いたさだまさしさんと同じ長崎県出身です

1月20日、「いいたて新春のつどい」のステージ上で、出口小児科医院(長崎県)院長・出口貴美子さんに対して、「までい大使」の委嘱が行われました。出口さんは、震災以降、定期的に村の幼稚園や小学校を訪れ、子ども達や保護者への心のケアを中心に支援くださっています。委嘱を受けた出口さんは、「これからも村の子ども達や保護者に寄り添っていきます」と話していました。村のPRやアドバイスを行っていただく「までい大使」は、出口さんを含め14人となりました。

## 「いいたてカレーパン」用の ハウレンソウを収穫したよ

12月19日、村と協定を結んでいる明治大学農学部の学生らが、高橋日出夫さん(関根・松塚)のハウスで寒締めハウレンソウの収穫を行いました。このハウレンソウは、協定に基づく事業の一つで「いいたてカレーパン」の開発に活用するため、高橋さんに栽培を依頼していたものです。収穫した約40kgのハウレンソウは、翌日、「までい工房美彩恋人」(渡邊とみ子代表/前田・八和木)の協力でペーストに加工。今後はこれを活用してカレーパンの試作を行っていくということです。



4人の学生と村職員(右から2人目)らが、高橋さんのハウスで収穫作業を行いました

## イタネちゃんをモチーフに 羊毛フェルトの楽しさを体験

12月26日、交流センター「ふれ愛館」で、「生涯学習事業 羊毛フェルト教室」が開かれました。羊毛フェルトとは、羊毛をニードル(針)でつついて繊維を絡めながら成形する手芸の一種です。講師に板橋秀美先生を迎え、手順を教わりながら、村公式キャラクター・イタネちゃんを作りました。製作が始まると、6人の参加者は、作業に熱中。かわいい作品ができあがると、それぞれのイタネちゃんを見せ合っていて楽しんでいました。



個性豊かなイタネちゃんが勢ぞろいしました。ものづくりに没頭する時間っていいですね

## 村を訪れた高校生に伝える 避難経験と農業再生への思い

12月28日、有名進学校である灘高等学校(兵庫県)、筑波大学附属駒場高等学校(東京都)から、生徒の皆さんが視察研修のために来村。交流センター「ふれ愛館」で、高橋日出夫さん(関根・松塚)の講演に耳を傾けました。野菜や花の栽培に精通し村で農業を営んでいた高橋さんは、避難先でも花き栽培を継続し、避難指示解除後はいち早く村での再開に取り組みました。講演を聞いた生徒達は「やり遂げた執念に感動した」「農業は大変だが頑張してほしい」と時間いっぱい高橋さんに感想を伝えていました。



生徒の皆さんは、高橋さんの体験と心情に、真剣に耳を傾けました。写真は対話する高橋さんと生徒達

つながるアルバム



8年目の餅つき会を村内で

12月26日、富山県から浄土真宗の僧侶・門徒の皆さんが来村し、交流センター「ふれ愛館」で、村民と共に餅つき会を行いました。この餅つき会は、「せめてお供え餅を」との思いから始まった支援で、震災の年から毎年12月末に、避難先の仮設住宅等で実施されてきました。支援開始から8年目の今回、初めて村の中で行うことになり、これまで避難先で交流していた人も駆け付けて、再会を喜び合っていました。参加者からは、「避難していたことを思うと、こうして村で高岡の人達と一緒に餅つきができることがうれしい」という声があがっていました。



身近な話題をお届けします。皆さんからの情報もお待ちしております。

道具はすべて高岡から持参とのこと！「こねどり」も飛び入りです



きつつきの会 きずな深める新年会



1月13日、きつつきの会(川俣地区飯館自治会／齋藤政行会長・前田)の新年会が、土湯温泉のホテルで開かれました。会には菅野村長や、菅野村議会議長らも招かれ、自治会活動に協力する東京電力福島復興本社のスタッフなども合わせて約60人が参加。平成24年の発足以来、困難を乗り越え行ってきたさまざまな活動を振り返り、今後についても意見を交わし、きずなを深めていました。

これまでを振り返りながら親交を深めた皆さん。夕食前には記念写真を撮りました

ちょっと昔の  
いいたて  
ライフ  
その9



右・作見の井戸  
左・マンサクの花

参考／写真転載  
飯館村史第3巻「民俗」

豊作を期す「作だめし」

米の作柄を占う「作だめし」にもいろいろあります。深谷地区にある「作見の井戸」では、たまる水の多い少ないで、その年の作柄を占います。井戸の深さは3.3メートルあって、そこに2.4メートルたまっていれば、豊作になると言います。

また、「サクミコブシ」の木に白い花がたくさん咲けば、これも豊作のしるし。「ヤジ」と呼ばれる山あいの湿地に「ハヌキ」の花が咲いた時も、作柄がよいと言います。さらに「マンサク」の花で言えば、上向きに咲くと作柄が悪く、下向きに咲くと作柄がよいと言われます。

ちょっと昔の人達は、「今年の米作りはどうなるだろう」と心配をしながら、春まだ早い野山の花を通して、自然に問いかけていたのでは、気候の変化の予兆をとらえていたのでしょうか。そして現在、避難による中絶を乗り越え、再び米作りに取り組んでいる人達がいまいます。どうか今年も、おいしいお米が村でたくさん穫れますように。

自分史集「飯館村に生きて 20人の足跡」が完成

村が進める村民の自分史事業。20人の自分史を1冊にまとめた本が完成しました。2月に贈呈式を行い、20人の方々に本をお渡しする予定です。(1月25日現在)



完成したばかりの本を「いいたて新春のつどい」の会場でお披露目しました(左の写真)



たくさんの年賀状をありがとう



村公式キャラクター・イタネちゃん宛に約120通の年賀状が届きました。「あけましておめでとう」のあいさつに、「がんばってね」「応援しています」などのメッセージも。イタネちゃんの似顔絵を描いたものもたくさんありました。

年賀状を受け取ったイタネちゃんは、大喜び。早速、お返事を出していたようです。お送りいただいた皆様、ありがとうございます。今年もイタネちゃんをよろしくお願ひします。

## 入札結果をお知らせします

入札日 / 12月17日 (単位: 円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 農業用施設等整備工事 (松塚地内農機具倉庫)	31,968,000円	庄司建設工業(株)	平成31年 3月下旬
福島再生加速化交付金事業 簡易水道監視設備等整備設計業務	3,888,000円	(株)東亜コンサルタント	平成31年 3月中旬
福島再生加速化交付金事業 簡易水道施設光ケーブル敷設計業務	5,076,000円	(株)TTK	平成31年 3月中旬

入札日 / 12月27日 (単位: 円)

飯館村原子力災害広域避難計画(仮称)策定支援業務	4,158,000円	エム・アール・アイリサーチ アソシエイツ(株)	平成31年 3月中旬
地上デジタル放送再送信事業工事 (第五期)	2,872,800円	(株)TTK	平成31年 3月下旬
飯館村パークゴルフ場整備工事	221,400,000円	庄司建設工業(株)	平成31年 3月下旬
飯館村パークゴルフ場整備工事発注者支援業務	1,026,000円	(株)福建コンサルタント	平成31年 3月下旬
白石地内消火栓移設工事	2,624,400円	恒栄総合設備(株)	平成31年 3月下旬
飯野町小平仮設用地測量業務	1,566,000円	(有)御堂測量設計事務所	平成31年 3月下旬
住民基本台帳ネットワークシステム機器更新業務	1,728,000円	(株)福島県中央計算センター	平成31年 3月下旬
国民年金システム改修業務	1,153,440円	(株)福島県中央計算センター	平成31年 3月下旬
被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 松塚地内農機具倉庫建設工事監理業務	1,728,000円	(株)和田建築設計事務所	平成31年 3月下旬
深谷住宅転落防止柵設置工事	1,080,000円	関場建設(株)	平成31年 3月下旬
村営住宅等温水洗浄便座設置工事	3,780,000円	関場建設(株)	平成31年 3月下旬
福島再生加速化交付金事業 農業集落排水管路更新工事实施設計業務(草野地内)	1,026,000円	福島県土地改良事業団体連合会	平成31年 3月下旬
農業集落排水施設災害復旧事業 実施設計業務委託 (草野第1地区)	2,106,000円	福島県土地改良事業団体連合会	平成31年 3月下旬
福島再生加速化交付金事業 農業集落排水管路更新工事配水管布設替え実施設計業務 (草野地内)	2,970,000円	(株)東亜コンサルタント	平成31年 3月下旬
農業集落排水施設災害復旧事業 配水管布設替え実施設計業務委託 (草野第1地区)	1,782,000円	(株)東亜コンサルタント	平成31年 3月下旬
農業基盤整備促進事業 飯館2期 夏井地区	6,912,000円	(有)福相建設	平成31年 3月下旬
農業基盤整備促進事業 飯館2期 くつわ掛地区	3,564,000円	(有)渡建工業	平成31年 3月下旬
農業基盤整備促進事業 飯館2期 八木沢地区	2,376,000円	濱田建設工業(株)	平成31年 3月下旬
農業基盤整備促進事業 飯館西部その2 村道整備工事	13,824,000円	(株)東栄	平成31年 3月下旬
被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 農業用施設等整備附帯工事 (松塚肉用牛用施設)	7,884,000円	(有)福相建設	平成31年 3月下旬

## 水道使用料、農業集落排水処理施設使用料 請求再開のお知らせ

村では、平成31年4月分から、水道使用料(メーター使用料も含める)と農業集落排水処理施設使用料の請求を再開することになりましたのでお知らせします。使用料の請求、納付までの主なスケジュールは以下のとおりです。使用を休止する場合は、届出が必要になりますので、平成31年3月20日までに、建設管理係までに連絡ください。

※料金等につきましては、加入されている方に個別に郵送通知をしておりますので、ご確認ください。

### ○請求・納付までの主なスケジュール

水道使用料と農業集落排水処理施設使用料を合わせて「上下水道使用料」として2か月ごとの請求となります。

- 平成31年4月上旬 …… 水道メーター検針 (初めの検針)
- 5月下旬 …… 水道メーター検針、検針票 (使用料のお知らせ) 配布
- 6月10日頃 …… 4、5月分使用料の納付書発送
- 6月末日 …… 4、5月分使用料の納付期限・口座引落 (口座振替者のみ)
- 以降は、2か月ごとに奇数月に検針、偶数月の10日頃に納付書を発送、同月末に納付期限 (口座引落) となります。

問 建設課建設管理係 (☎ 0244-42-1624)

### 1月の村の動きと主なできごと

- 4日・仕事始めの式 (交流センターふれ愛館)
- ・小泉チヨさん 百歳賀寿 (いいたてホーム)
- 6日・飯館村消防団 出初式 (交流センターふれ愛館)
- 8日・仮設住宅・公的宿舎管理人会議 (松川事務所)
- 13日・平成31年 飯館村成人式 (交流センターふれ愛館)
- 18日・村議会第1回臨時会 (村役場議場)
- ・第4回行政区長・副区長会議 (福島市・コラッセふくしま)
- 20日・いいたて新春のつどい (飯館中学校体育館)
- 21日・平成30年度福島県原子力防災訓練 (村役場)
- ・第1回農業委員会定例総会 (村役場議場)
- 22日・スポーツ公園利用準備委員会 (スポーツ公園管理棟)
- ・学校運営協議会 (飯館中学校)
- 23日・第3回特定復興再生拠点整備推進会議 (いちばん館)
- ・定例教育委員会 (村役場)
- 24日・第3回飯館村長泥地区環境再生事業運営協議会 (村役場)
- 26日・帰還者のつどい (交流センターふれ愛館)
- 27日・文化財防火デー消防訓練 (山津見神社)
- ・飯館町地区基盤整備説明会 (飯館町集会所)

村山 キサノさん (深谷)



震災前に夫を亡くし草野地区の自宅で一人暮らしをしていたキサノさん。松川雇用促進住宅での避難生活を経て帰村し村営住宅で新しい生活を始めています。

夫はやさしい人で、けんかをしました。皆さんに本当にお世話になって、ありがたかったです。震災の2年前に亡くなるまでは、家で一緒に仕事をしていました。

震災の直後は、関東の方の親戚や子どもの家に泊まらせてもらっていたけれど、家が気になって…。犬も飼っていたし、新幹線が動き始めたその日に村に戻ったの。駅までは娘に送ってもらって、ご飯やパンやお菓子もたくさん持たされて、帰ってきたんだ。

今は(サポートセンター)つながつべにも行っている。一緒に避難していた人にも会えるんだ。今まで知らなかった人とも知り合っただし、世話してくれる人もみんないい人ばかり。1日がすぐに過ぎちゃうよ。

んは松川の仮設に入っていたの。くじ引きがあると聞いた時にはがっかりしたけれど、無事に隣同士に入ることができました。福島にいる息子はちよこちゃん様子を見に来て泊まっていくし、娘達は毎日くらい電話をくれるよ。

心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

おしえてくんちえ! 堀先生

相談 自分の「ダメ」なところばかりが気になってしまい、嫌になることも…

うつになりやすい人のなかには、自分で自分をいじめるようなことを、ずっと考えている人がいます。自分のことを自分で見張っていて、「ほら、あんなダメなことを考えている」「あんな下手なことしかできない」と批判ばかりしているのです。なんせ自分のことなので、逃れることができません。そんなことを続けていると、神経がクタクタに疲れてしまいそうですね。

どうぞ、世界中のみんながあなたの敵になったとしても、自分だけは自分の味方で居続けてください。自分自身を愛するのも、場合によっては結構難しいのです。



精神科医 堀有伸先生  
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1638まで

世にも不思議な銀行

こころのぽけっと

不思議な銀行があるという話を聞いたことがあります。その銀行とは、毎朝、誰にでも公平に8万6400円を振り込んでくれるんだそうです。しかし、その日の内に全額を使い切らないと夜の内にその残金は全て消されてしまうそうです。そうしたら、誰だって必死にその日の内に使い切るはずですよ。私たちはそんな銀行を皆持っているという話です。

その銀行とは、「時間銀行」です。毎朝、誰にでも8万6400秒の時間預金が与えられます。そして、その日の内に全て消費してしまいます。翌日に、繰越しは出来ません。ただし、その毎日の8万6400秒をどう使うかは全く自由です。であるなら、「怒ること」や「悲しむこと」だけに使うよりは、「楽しむこと」や「喜ぶこと」に使い、さらには「自分の健康」や「家族のため」さらに「他人のため」に使う「幸せ」を感じた方がいいに決まっています。

先日、川俣の「きつつきの会」の新年会に出席した折、ついでに「時間銀行」の話を出してしまいました。皆、前向きにとっても楽しく過ごしてました。皆、多分、次のような話も聞いたような気がします。1年の価値を知りたければ、落第した学生に聞いてみるといい。1週間の価値を知りたければ、週刊誌の編集者に聞いてみるといい。1分の価値を知りたければ、電車でちやうど乗り過ぎた人に聞いてみるといい。0.1秒の価値を知りたければ、オリンピックで銀メダルに終わった人に聞いてみるといい。そう考えると私たちは「一瞬一瞬」を大切にしなければなりません。時計の針は、私たちを待ってくれませんから。だから二度とない「今日」という日を大切にしていきたいものですね。

平成31年1月16日 飯館村長 菅野 典雄

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
光希くん	和哉・志帆	関沢



すくすくと元気に育ってね

ひとのうごき

ひとのうごき (平成30年12月31日現在)		12月1日~31日までの人口動態	
人口	今月 (前月比)	◆◆人口動態◆◆	
男	2846人 (-6)	転入	9人
女	2858人 (-4)	転出	12人
計	5704人 (-10)	出生	2人
世帯数	1816戸 (-5)	死亡	9人
			(住民基本台帳人口)

おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 ソウ子	90	伊丹沢
高野 多美子	82	八木沢・芦原
久米 隆時	87	佐須
高野 吉雄	91	小宮
渡邊 福男	67	前田・八和木
細川 義孝	65	上飯樋
本田 美代子	88	草野
荻津 幸夫	69	草野
長正 邦利	88	大久保・外内
菅野 ナミ	95	関根・松塚

ご冥福をお祈り申し上げます

(12月15日から1月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

# HOPES

ホープス セカンド

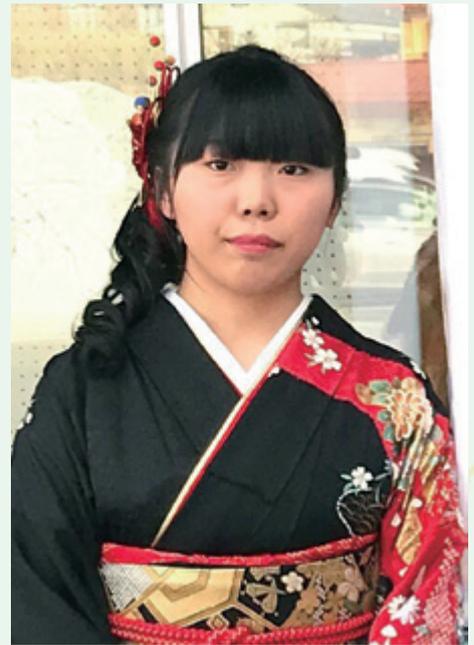
2nd

「私が言い出しっぺです」。成人式の実行委員になろうと友人に声を掛けた大河内さん。10人が集結した実行委員会の委員長も務めました。「みんなで楽しめる成人式にしたかったです」。

その後、大河内さん達の成人式に、協力をしたいと申し出たのが「リバースプロジェクト」でした。震災が起きたことにより、行うことができなかった小学校の卒業式を、同

## 感謝をこめて笑顔の成人式

大河内 渚さん（八木沢・芦原）



今年の成人式で実行委員長を務めました。震災が起きた平成23年3月時は草野小学校の6年生。飯館中学校を卒業し、福島市内の高校に進学。現在は東京都内の大学で日本文学を学んでいます。



小学校の卒業式、そして今回の成人式に力を貸してくれた「リバースプロジェクト」の代表で俳優の伊勢谷友介さん（右端）と。右から2人目が大河内さん

じ年のクリスマスに開こうと、当時から大きく力を貸してくれた団体です。

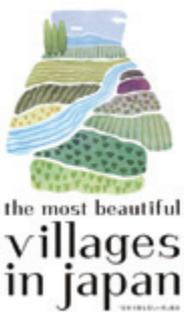
それから7年。前回とは全く違う立場での再会に、「最初は不安もありました」と大河内さん。それでも、関東在住の委員と共に都内事務所で会議に参加し、アイデアを出し合う中で、徐々に手応えを感じていったと言います。「大人の人と会議で意見を交わしました。社会経験として今後の糧になると思います」。

そして、成人式は大成功！（詳しくはP12をご覧ください）。委員のアイデアを生かした写真の掲示やバルーンアートなどの装飾も、友人達をさらさらの笑顔にしました。素晴らしい式となり、「ほっとした」と話す大河内さん。「村はやっぱり友に会える大切な場所でした。両親に感謝を伝えることもできました」。

### 〈編集後記〉

● 昨年末に放送されたNHK紅白歌合戦、今号でも紹介している成人式、新春のつどいに著名な方々が訪ねてきてくれました。これは、他でもなく村民の皆さんが「一歩一歩、歩んでいるからこそ。がんばる人は応援したくなりますものね。誰かが言っていました」「がんばってきて良かった」と。時には休みたくなる時、進みたくない時もありますが、応援を背中にかけてぴゅーっとなんていきましょう。（木幡）

● 3月11日の「あたりまえをありがたと思う日」に向けて、村がエピソードを募集しました。どんなお話が聞けるか楽しみですね。「あたりまえ」だからこそ、かけがえない価値があつて、しかもなかなか気づけない。手元にあるうちは羽根のように軽くて、なくした時にはその重さに耐えかねる。人の心はややこしいです。「当たり前前」こそ「有り難い」。毎日をもっと大切にしたいです。（星）



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。